

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	42 長崎県
市区町村名	42321 東彼杵町
自治体区分	

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
42321 東彼杵町	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	学校以外で学習を行う習慣がない生徒の増加が懸念され、学校の授業以外で学習を行うことに対する指導等が学校・家庭の共通の課題となっている。	R5年度から地域未来塾事業を実施	R5年度に引き続き、放課後等において、学習支援教室を開設する。学習支援員には、大学生や教員OB等の地域住民の協力により、15名程度配置し、隔週1回程度の学習支援教室を実施する。	学校以外での学習習慣が身につくとともに、学校との連携により生徒の個性に応じた学習支援を行うことにより、学習への意欲と基礎学力を向上させ、教員の学習指導の負担軽減を図る。	学力調査偏差値(数学)	49	その他	50	51	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。 ・学習支援員を15名配置できたことは、授業に遅れがちな生徒にとっては、時間をかけてゆっくりアドバイスを受けながら学習を進めていくことができ、基礎学力の向上のためにによりよい環境を提供することができた。 ・生徒に年齢的に近い、大学生サポーターとのコミュニケーションを通じて、目標意識が高まり、教室への参加意欲の向上が見られた。 ・社会福祉協議会や子ども食堂等を運営するNPO法人から、毎回、おにぎりや飲み物などの差し入れが届けられるなど、支援の輪が広がり、未来塾を通じて地域学校協働活動への理解が深まった。 ・学習教材等を充実させ、より生徒の習熟度に応じた支援ができるよう、改善を行いたい。	https://www.town.higashisonogi.lg.jp/soshiki/higashisonogichokyo/okuiinkai/shakyou/3138.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。